

がんばろう！東北

「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定について

東北地方整備局では、仙台管区気象台が火山活動解説資料（10月9日「火山活動について注意喚起」）を公表した蔵王山について「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討作業を急ぎ、平成26年度内の計画策定を目指します。

○東北地方の火山噴火に関する取り組み

全国には110の活火山が存在し、このうち東北地方には18火山（※1）が分布しています。

平成19年度から国土交通省では、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために「火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定することとしています。

計画策定は火山活動が活発で社会的影響の大きい全国29火山を対象とし、東北地方整備局管内では9火山（※2）について計画を順次策定してきています。

○蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画

蔵王山の火山噴火時に発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減することを目的に、平成25年2月、「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を設置し、鋭意検討を進めてきたところです。

平成26年10月9日仙台管区気象台が発表した「蔵王山の火山活動解説資料」により、「お釜及びその周辺では新たな噴気孔の発生、火山ガスや泥の噴出等の現象も考えられる」との注意情報が出されたことから、検討作業を急ぎ「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を平成26年度内に策定することとしました。

また、宮城、山形両県において10月31日に「蔵王山火山防災連絡会議」が開催されることが決定しており、今後、火山の避難対策などについて議論されていくこととなりますので、東北地方整備局では「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」でとりまとめる噴火シナリオ、火山ハザードマップを適宜情報提供するなど積極的に協力して参ります。

発表記者會 <宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、山形県政記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
河川部河川計画課 課長

やまだ たくや
山田 拓也（内線3611）

建設専門官 しぎはら よしたか
嶋原 吉隆（内線3616）

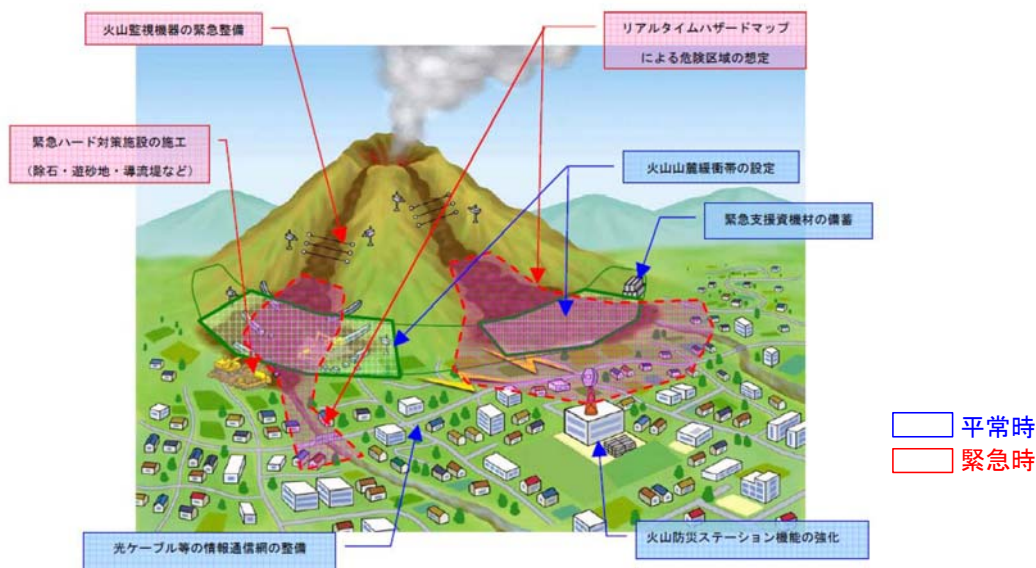
TEL 022-225-2171（代）

(参考)

○火山噴火緊急減災対策砂防計画

火山噴火時に発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減するため、国及び県の砂防部局がハード・ソフト両面の対策を定めるものです。

計画策定にあたっては、砂防部局が火山毎に設置する委員会（学識経験者、気象庁や自衛隊、消防、警察などの関係機関及び、県・市町村などにより構成）において、検討しています。



火山噴火緊急減災対策砂防計画のイメージ図

※ 1 東北地方の活火山（18火山）

恐山、八甲田山、岩木山、十和田、八幡平、岩手山、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳（ひうちがたけ）

※ 2 東北地方の火山噴火緊急減災対策砂防計画策定状況（9火山）

進捗状況	火山名	策定年
策定済	秋田駒ヶ岳 岩手山 吾妻山	平成21年度 平成22年度 平成24年度
策定中	岩木山 鳥海山 蔵王山 安達太良山 磐梯山（北陸地方整備局）	平成26年度以降 平成26年度以降 平成26年度 平成26年度以降 平成26年度以降
未策定	秋田焼山	未定